

4. 挟まれ事故防止

✓ 作業中の挟まれ事故に注意

木の枝下まで刈ろうとする時や、壁際などの作業時には木の枝や支柱、壁に首や身体を挟まれる可能性があります。無理に枝下や壁際まで作業せず、別途除草してください。

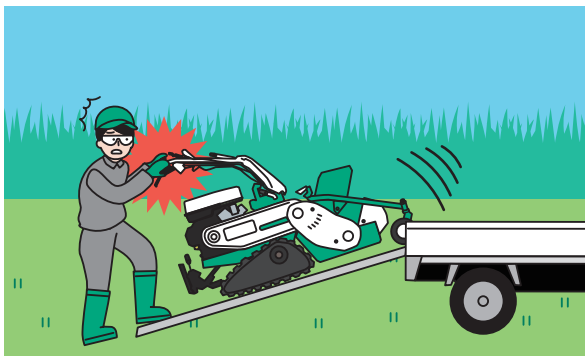


5. トラック積載時の事故防止

✓ 積載時の禁止事項

積載中はサイドクラッチ(該当製品)変速レバー・走行クラッチの操作は絶対に行わないでください。

また積み込みは「前進」、降ろすときは「後進」で、低速で行ってください。

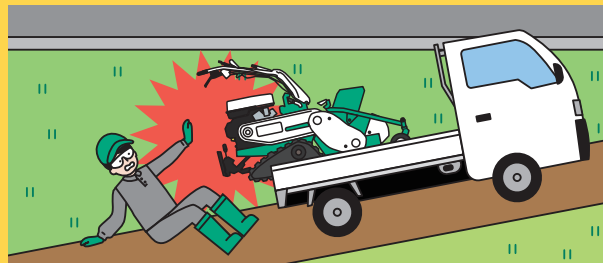


✓ 積み込み・積み降ろしは平坦な場所で行う

駐車ブレーキが効くことを確認して、平坦で安定した場所で積み込みと積み降ろしを行ってください。駐車ブレーキが効いていない状態で傾斜地で積み降ろしを行うと、荷台のアオリを下げた時や、固定ロープを緩めた時に、本機が滑り落ちてくる可能性があります。

✓ 積載用ブリッジはトラックの荷台から外れないよう確認

積載用ブリッジのフックは、トラックの荷台に段差がなく、外れないように確実に掛けてください。また、本製品左右のタイヤが積載用ブリッジから脱輪しないよう注意してください。



⚠ 安全にお使い頂くために

※製品使用の際は、取扱説明書を読み、充分に理解した上で、安全に気を付けて使用してください。また、製品付属の保護メガネなどを使用し、帽子(ヘルメット)や長靴などを身に付け、圃場に適切な服装にて作業してください。作業範囲内(半径15m以内)に人(特に子供)がいないことや、圃場状態が安全であることを確認し、作業してください。



SAFE
WORK
CHECKLIST

雑草刈機
ブルモアー

安全作業
チェックリスト



OREC 株式会社 オーレック

<https://www.orec-jp.com> Email:info@orec.co.jp

本社 〒834-0195 福岡県八女郡広川町日吉548-22 TEL 0943-32-5002(代) FAX 0943-32-6551

OREC

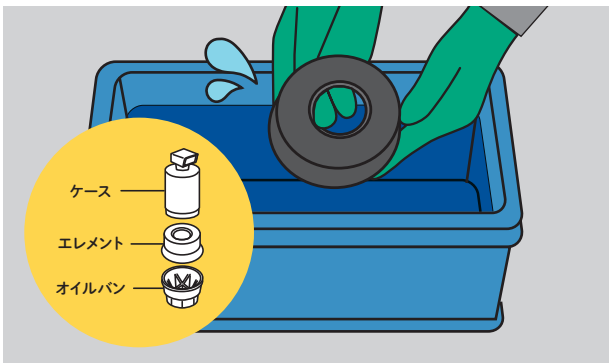
1.火災事故防止 (エンジン及びその周辺の清掃)

使用前と使用後の点検・清掃を必ず行ってください。点検・清掃やメンテナンスを怠ると火災や故障の原因となります。作業時は1~2時間に1回の確認を行い、草屑などが堆積している場合は、清掃をお願いします。給油時には上限マークを守り、燃料がこぼれた時は、必ず拭取ってください。



1-1. エンジン及びその周辺の清掃

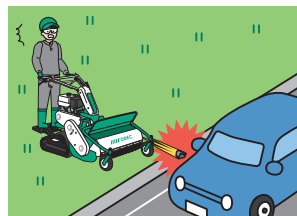
- ✓ **マフラー付近、エンジン排気管周りの清掃・点検**
マフラーの破損や緩みなど整備不良のまま使用すると、火災の原因となる場合があります
- ✓ **エンジンオイルの確認**
オイルは消耗品です。オイルが汚れていたり、規定量が入っていないとエンジン焼付きなど故障の原因となります。
- ✓ **吸気口の清掃**
吸気口に草がつまると、エンジンの冷却の妨げとなります。
- ✓ **エアクリーナの清掃**
排ガス温度の上昇は、火災の原因となる場合があります。



エレメントは灯油か中性洗剤でよく洗い、乾燥させます。その後、新しいエンジンオイルに浸し、固く絞って余分なオイルを落としてください。(湿式の場合)

2.飛散事故防止

石などの飛散による、車の窓ガラス破損などの物損事故や、目や身体の怪我等の人身事故に気を付けて使用してください。(特に作業前方)



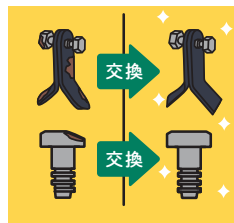
2-1.作業前

- ✓ **落下物の除去**



- ✓ **刈取ナイフの取付確認**

ナイフが脱落・飛散しないように、ナイフや取付けボルトに破損や摩耗、緩みがないか確認してください。ボルトに緩みがある場合は交換してください。ナイフの欠損や脱落は、バランスが崩れて振動の原因になります。そのような整備不良の状態で使用すると、人身事故等の重大な事故や故障の原因となります。振動を感じたら使用を中止して点検を行ってください。



2-2.作業中

- ✓ **フロントカバーを下げ、安全カバーを取り付ける**

飛散を最小限にするために、必ず閉めて作業してください。
※石などがある圃場では、通常より高刈りで作業を行ってください。



フロントカバーが上がっている



安全カバーが付いていない

- ✓ **周囲に人や車その他傷つけてはいけないものがある場合は、草刈りを中断する**

※車などは事前に移動させ、安全を確認した上で草刈りを行ってください。

3.転落・転倒事故防止

崖の上や上段の圃場からの転落による死亡事故など重大事故に十分注意してください。



3-1.作業前

- ✓ **駐車ブレーキの確認**

以下のいずれかの方法で確認しましょう。

- 変速レバー「N」位置で走行クラッチを「切」位置にし、押しても動かない。
- 走行クラッチを「切」にしたとき、機械が止まる。

- ✓ **圃場の状況確認**

崖や側溝など段差や、危険な箇所がある場合は目印を設けて、近寄らないでください。

- ✓ **傾斜角度の確認**

傾斜地で作業を行う時は、傾斜地の角度を確認してください。(ホイールタイプは10°以下、クローラーは25°以下)

3-2.作業中

- ✓ **作業方向の注意**

傾斜地での作業は決められた角度以内を守り、等高線方向に作業を行うようにしてください。上下方向に作業すると、機械が滑り落ち巻き込まれる可能性があります。

- ✓ **滑りやすい場所では作業を行わない**

- ✓ **作業中は路肩崩れや転落の危険性を考慮し平坦地を走行し安全運転に集中する**